

滋賀医科大学（医・医）、近畿大学（医・医）他合格

N・Aさん（洛北高）

昨年の3月からKGSでお世話になりました。私は現役の時にセンター試験で失敗してしまい、KGSで浪人することを決めました。

私が今年志望校に合格することができた一番の理由はKGSが良い意味で「自由」であるからだと思います。これは、もちろん放任されているということではなく学力に加えて自分で考える力を身に着けることが可能であるということです。例えば大手の予備校などでは医学部志望の塾生が受講しなければならない授業が定められていることが多いと思います。しかし、KGSではどの授業が自分に必要かを考え選択することができます。そのため、自分の学習時間が授業によって圧迫されることもなく、予習復習もきっちり行うことができました。また、自習室も常に開放されているという「自由」もあり、私は朝早く勉強するほうが自分にあっており家では集中できないタイプだったのでとてもありがたかったです。

私は京都出身で名古屋在住の叔母の家から通っていましたがあまり寂しさを感ずることなく一年間過ごすことができました。それも葛原先生が毎日声をかけてくださり、さらに同じような悩みをもつ周囲の仲間たちとがんばれたおかげです。

最後に、いつもわかりやく熱心な授業を行っていただき学習の相談や質問にやさしく、ときに厳しく対応くださった葛原先生・大谷先生本当にありがとうございました。

徳島大学（医・医）、愛知医科大学（医・医）他合格

横田 海友君（刈谷高）

「全国偏差値40」。これは私が高3生の時の模試の成績です。通っていた高校は進学校ではあったのですが、野球部に所属していたため3年生に進級しても引退までは学習時間もほとんどとれず部活中心の日々を過ごしていました。現役時のセンター試験では、当然のことながら医学部レベルからは程遠い得点しか取ることができませんでしたが、どうしても医学部に進学したいという思いを捨てることができず浪人することを決めました。

実際に浪人するにあたり、早い段階でいろいろな塾・予備校の見学にうかがったり説明を受けに行ったりしましたがどこの塾でも私自身が「現時点での実力では現役での医学部合格は難しい」ことを理解しそのように説明しているにも関わらず、その年の受験に向けてどうするかというような目先の話ばかりでした。しかし、葛原先生とお話しさせていただいたときに「この点数では厳しい」、「次の1年でどのように力をつけるかを考えて行動するべきだ」と率直におっしゃっていただき、本当に生徒のことを考えてくださる先生だと感じてKGSへの入塾を決めました。

KGSの良いところをいくつかの点にわけてあげていきます。まず、授業についてです。大手の塾とは異なり自分でどの授業を受講するのかが選択することができます。塾生それぞれについて到達レベルは教科ごとに異なっているのが普通であり、各自のレベルにあわせて教科ごとに自分にあったクラスを選択できるのは非常に合理的だと思います。特に英語・数学は細かくクラス分けがなされており、その時点での自分のレベルや目標にあわせて受講することができます。また、それぞれの教科について質問のための時間が別に設定されており、自分では進めることができない部分や自習で理解しきれなかった部分を効率的に解決することができます。授業は少人数で行われ、各自の理解度を把握したうえで進んでいくので授業中に深く理解することができ、それに加えて自習室でしっかりと復習することで自分の実力となって身につけていくのが実感できました。

また、KGSには医学部を目指す塾生が多く、皆の意識が高い中で切磋琢磨できたことは私にとって大きな利点でした。

これから受験をされる皆さんに私から一つアドバイスさせていただくとしたら、まずは自分の現状をしっかりと把握することだと思います。今の時点でできないことも受験時にできるようになっていけば良いのだと思って日々努力を重ねていけば良いと思います。

葛原先生は、塾生個々のことを本気で考えいつも全力でサポートしてくださいました。私はKGSで学んだからこそ1年で国公立大学医学部に合格できたのであり、他のどこで浪人したとしても合格は不可能であっただろうと思います。

葛原先生はじめ、大谷先生など先生方1年間本当にありがとうございました。